

1 千代田区立スポーツセンターの現況

1. 施設概要

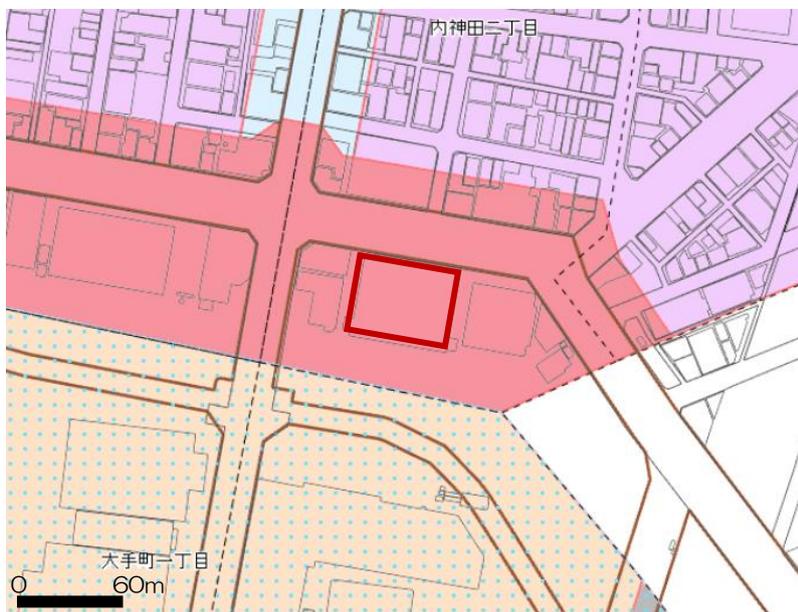
(1) 施設概要

敷地面積	3,201.16 m ²	 <p>施設外観</p>
建築面積	2,411.80 m ²	
延床面積	11,853.80 m ²	
地域区分	商業地域、防火地域	
建ぺい率	建ぺい率 75.3% (耐火建築物で上限 100%)	
容積率	容積率 370.2% (上限 800%)	
竣工年月日	昭和 47 年 10 月 27 日	
構造	SRC 造、地上 8 階地下 1 階建	
配置諸室	受付ホール、主競技場、トレーニングルーム、観客席、サブランニングコース、プール、採暖室、プール観客席、相撲場、スタジオ、ゴルフレンジ、医務室、事務室、卓球場、剣道場、柔道場、弓道場、シャワー室、更衣室、各協会事務室・会議室、絵画教室、音楽室、映写室、和室、茶室、料理教室、多目的室、集会室、貸店舗、地下駐車場 (23 台)、防災備蓄倉庫	
公共施設の位置づけ	スポーツ施設、避難所※、区民集会施設※	

※避難所：家屋の倒壊・焼失等により自宅に留まることができない、または留まると危険を感じる被災者を保護するための区民を対象とした施設

※区民集会施設：町民の会合や地域の人々のサークル活動の場など、子どもからお年寄りまでが集い・憩い・学ぶことができる地域活動の中心的役割を果たす施設

(2) 都市計画



用途地域

- 300%, 第一種住居地域, 60%, 準防火
- 400%, 第一種住居地域, 60%, 防火
- 500%, 第一種住居地域, 80%, 防火
- 300%, 第二種住居地域, 60%, 準防火
- 400%, 第二種住居地域, 60%, 防火
- 500%, 第二種住居地域, 80%, 防火
- 400%, 商業地域, 80%, 防火
- 500%, 商業地域, 80%, 防火
- 600%, 商業地域, 80%, 防火
- 700%, 商業地域, 80%, 防火
- 800%, 商業地域, 80%, 防火
- 900%, 商業地域, 80%, 防火
- 1000%, 商業地域, 80%, 防火
- 1200%, 商業地域, 80%, 防火
- 1300%, 商業地域, 80%, 防火

特例容積率適用地区



都市計画道路



用途地域	商業地域
建ぺい率	80%
容積率	800%
防火地域	防火
日影規制	—
都市計画	千代田区駐車場整備地区※ (区告第 71 号)

※駐車場整備地区：自動車交通または周辺地域内で混雑する地区において、地区内の公営駐車場設置、民間駐車場等の設置促進を図ることを目的に指定される地域

2. 利用状況

(1) 営業時間、休館日

- ①営業時間：午前9時～午後9時 ※平成29年度の開館日（営業日数）は343日
 ②休館日：毎月第3月曜日（祝日と重なる場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）、その他工事等による臨時休館日

(2) 利用者の状況（平成29年度）

階数	施設名	面積	利用定員 (個人)	個人利用 人数	団体利用 人数	その他 利用人数	利用人数 合計	前年度比	H20年度 比	回転数	利用率
3	主競技場	1,188 m ²	100人	18,065人	52,467人	1,583人	72,115人	111.49%	108.24%	3	70.08%
1	プール	756 m ²	140人	24,264人	6,436人	17,800人	48,500人	96.76%	114.90%	4	25.25%
2	卓球場	390 m ²	60人	8,926人	14,606人	637人	24,169人	99.79%	108.20%	3	39.15%
2	剣道場	360 m ²	60人	5,718人	12,622人	224人	18,564人	99.09%	127.87%	3	30.07%
2	弓道場	468 m ²	30人	3,187人	17,466人	676人	21,329人	76.16%	114.65%	3	69.09%
2	柔道場	360 m ²	60人	6,721人	9,782人	550人	17,053人	100.46%	142.63%	3	27.62%
1	相撲場	216 m ²	60人	1,344人	280人	230人	1,854人	89.82%	131.11%	3	3.00%
1	ゴルフレンジ	57 m ²	2人	1,465人	0人	3,512人	4,977人	93.11%	161.12%	24	30.23%
3	トレーニング グループ	231 m ²	-	41,788人	0人	25,886人	67,674人	106.82%	153.92%	3	-
4	ランニング コース	30m	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	スタジオ	56 m ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	集会室 A	45 m ²	20人	0人	12,837人	0人	12,837人	98.89%	77.90%	3	13.86%
5	集会室 B	45 m ²	20人								
4	集会室 C	108 m ²	50人								
4	観覧席		-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	多目的室	90 m ²	-	0人	9,684人	0人	9,684人	100.91%	140.79%	3	-

※その他利用人数の内訳は、区民無料開放日利用者、区主催事業参加者、小中学生夏休み無料開放時利用者、すばすた会員、優待券利用者、障がい者、高齢者、見学者である。

※回転数の詳細は、3（AM/PM/夜間）、4（2時間ごと）、24（30分毎）である。

※利用の頻度（利用率）を検討するにあたり、下記の計算式を用いることとした。

$$\text{利用率（\%）} = \frac{\text{利用人数合計}}{\text{利用定員} \times \text{営業日数} \times \text{回転数}} \times 100$$

階数	施設名	面積	利用定員	事業利用 件数	団体利用 件数	利用件数 合計	前年度比	H20年度 比	回転数	利用率
7	第1集会室	36 m ²	18人	4件	214件	218件	94.78%	75.95%	3(AM/PM/夜間)	21.19%
7	第2集会室	62 m ²	36人	10件	251件	261件	117.04%	90.31%	3(AM/PM/夜間)	25.36%
8	第3集会室	99 m ²	60人	35件	288件	323件	101.89%	108.02%	3(AM/PM/夜間)	31.39%
7	料理教室	132 m ²	60人	58件	99件	157件	110.56%	123.62%	3(AM/PM/夜間)	15.26%
7	多目的ルーム	99 m ²	48人	4件	689件	693件	104.21%	85.23%	3(AM/PM/夜間)	67.35%
8	茶室	4.5 畳	6人	6件	182件	188件	108.67%	92.61%	3(AM/PM/夜間)	18.27%
8	和室	21 畳	24人	29件	289件	318件	102.25%	87.60%	3(AM/PM/夜間)	30.90%
8	映写室	66 m ²	30人	4件	370件	374件	91.89%	74.65%	3(AM/PM/夜間)	36.35%
8	音楽室	66 m ²	30人	2件	425件	427件	95.52%	71.76%	3(AM/PM/夜間)	41.50%
8	絵画教室	66 m ²	20人	0件	69件	69件	115.00%	35.38%	3(AM/PM/夜間)	6.71%

※利用の頻度（利用率）を検討するにあたり、下記の計算式を用いることとした。

$$\text{利用率（\%）} = \frac{\text{利用件数合計}}{\text{営業日数} \times \text{回転数}} \times 100$$

(3) 利用者の属性

1) 改定千代田区スポーツ振興基本計画（平成 25 年 6 月）からの利用属性

在勤や在学者の利用が 8 割と多い傾向

改定千代田区スポーツ振興基本計画より

スポーツセンターの利用状況として、区民利用が約 2 割、**在勤や在学者の利用が 8 割**で、区民以外の利用率の高さが千代田区の特徴となっている。

2) 指定管理者が実施した利用者アンケート（平成 28・29 年度）※からの利用属性

①性別：

女性利用が多い

性別	平成 28 年度		平成 29 年度	
	回答数	%	回答数	%
男性	53	42.7%	67	40.4%
女性	68	54.8%	92	55.4%
無回答	3	2.4%	7	4.2%
回答総数	124	100%	166	100%

②年代：

40 代以上の利用が多く、特に 60 代以上の利用が多い

年代	平成 28 年度		平成 29 年度	
	回答数	%	回答数	%
10 代	1	0.8%	1	0.6%
20 代	7	5.6%	30	18.1%
30 代	16	12.9%	17	10.2%
40 代	31	25.0%	31	18.7%
50 代	34	27.5%	26	15.7%
60 代以上	33	26.6%	55	33.1%
無回答	2	1.6%	6	3.6%
回答総数	124	100%	166	100%

③利用時間帯：

平日利用が多く、特に午後や夜間に多い

時間帯	平成 29 年度	
	回答数	%
平日の午前中	28	16.9%
平日の午後	47	28.3%
平日の夜間	55	33.2%
週末の午前中	8	4.8%
週末の午後	11	6.6%
週末の夜間	6	3.6%
無回答	11	6.6%
回答総数	166	100%

注：平成 28 年度はデータなし

④施設利用頻度：

週 1・2 回が 6 割を超え、利用頻度が高い

年代	平成 28 年度		平成 29 年度	
	回答数	%	回答数	%
年に 1 回程度	2	1.6%	1	0.6%
半年に 1 回以上	5	4.0%	10	6.0%
月に 1 回程度	10	8.1%	20	12.0%
2 週間に 1 回程度	13	10.5%	18	10.8%
1 週間に 1 回程度	51	41.1%	59	35.5%
1 週間に 2 回以上	41	33.1%	49	29.5%
無回答	2	1.6%	9	5.4%
回答総数	124	100%	166	100%

⑤交通手段：

電車でのアクセスが 4 割を超え最も多く、徒歩・自転車での利用も多い

手段	平成 28 年度		平成 29 年度	
	回答数	%	回答数	%
徒歩	22	17.8%	34	20.5%
車	5	4.0%	4	2.4%
電車	54	43.5%	107	64.5%
バス	3	2.4%	3	1.8%
自転車	27	21.8%	11	6.6%
その他	10	8.1%	1	0.6%
無回答	3	2.4%	6	3.6%
回答総数	124	100%	166	100%

⑥移動時間：

1 時間以内が 9 割弱と多く、30 分以内が 5 割を超える

時間	平成 28 年度		平成 29 年度	
	回答数	%	回答数	%
15 分以内	37	29.8%	34	20.5%
30 分以内	42	33.9%	50	30.1%
1 時間以内	32	25.8%	62	37.3%
1 時間以上	11	8.9%	14	8.4%
無回答	2	1.6%	6	3.6%
回答総数	124	100%	166	100%

※調査期間は平成 29 年 2 月 1 日～28 日（平成 28 年度）及び平成 30 年 2 月 1 日～28 日（平成 29 年度）、期間中来館利用者を対象に行った。

II 課題の抽出と整理

(1) 課題の抽出 ※ ■：施設に関すること、■：利用に関すること、■：バリアフリーに関すること、■：快適性に関すること、■：安全に関すること、■：その他

<p>1) 新千代田区立スポーツセンター整備に関する提言(平成30年3月)</p> <p>①施設自体の老朽化が進んでいる。</p> <p>②施設全体が狭小で、将来を見据えた多目的な用途への転用や機能導入が困難である。</p> <p>③バリアフリー対応が不十分である。</p> <p>④個人利用施設は円滑な利用に対応しきれていない。</p> <p>⑤利用頻度が低い種目や用途が限られた競技場などを汎用性が高い設備にする必要がある。</p> <p>⑥区としてのサービス提供の特異性を図る必要がある。</p> <p>⑦ユニバーサルデザインに配慮していく必要がある。</p> <p>⑧平日の午前・午後の利用率を上げ、利用者数の向上を図る必要がある。</p> <p>⑨地球温暖化への配慮が不足している。</p>	<p>2) 第1回新スポーツセンター基本構想検討会における課題</p> <p>①総合的に色々入れると、かえって使いづらくなる。</p> <p>②競技は利用者が限定される。</p> <p>③相撲場の利用率は低い。</p> <p>④施設内に食堂がない。</p> <p>⑤学校教育カリキュラムではスポーツセンターをあまり利用しない。</p> <p>⑥子どもがスポーツセンターを利用するのは、わんぱく相撲程度のイメージがある。</p>	<p>3) 現行指定管理者ヒアリングからの課題</p> <p>①主競技場、プール、トレーニングルームが利用過多である。</p> <p>②スタジオが狭い。</p> <p>③ゴルフレンジの環境改善が必要である。</p> <p>④施設内ランニング機能は不十分である。</p> <p>⑤屋上空間をスポーツ空間として活用すべき。</p> <p>⑥プールは水深があり水中運動プログラムがしづらい。</p> <p>⑦シャワーのみで浴槽等がない。</p> <p>⑧廊下等動線・更衣室・手洗い・シャワー室・エレベータなどにバリアフリー対応が必要である。</p> <p>⑨エレベータは待機の混雑が起きている。中も狭い。</p> <p>⑩お子様連れの親子の利用がある中、授乳室がない。</p> <p>⑪飲食スペースは観覧席のみ、別場所設置の要望がある。</p> <p>⑫アジアの外国人利用が増えている中、外国語対応は英語パンフレットのみである。</p> <p>⑬施設内空調は諸室のみ、施設全体で空調の効果が薄い。</p> <p>⑭セキュリティ対策が課題である。エレベータから受付を通らず各階に行けてしまう。</p> <p>⑮事故、けがが対策が必要である。医務室は1階のみ、他階で倒れた場合は人数と時間がかかる。</p> <p>⑯利用者の多くはスポーツと生涯学習を別扱いで捉えている。</p>	<p>4) 現地調査(墨田区総合体育館、葛飾区水元総合スポーツセンター)における課題</p> <p>①トレーニングルームは人気があり、週末夜・土日は利用が混雑する。主競技場・プールも応募が多く、個人利用者は希望通りに利用できない状況である。(墨田区総合体育館)</p> <p>②プールの観覧席では覗き目的と思われる方もおり、警備員に監視させ対応している。(墨田区総合体育館)</p> <p>③エレベータが1基のみで混雑する。駐車場が満車時は出庫待ちで渋滞する。(葛飾区水元総合スポーツセンター)</p> <p>④施設内の内履き・外履きのすみ分けが課題である。(葛飾区水元総合スポーツセンター)</p>	<p>5) その他課題(事務局案)</p> <p>①体育館・プール・卓球場・弓道場・剣道場・柔道場の利用が高い。特に体育館とプールは夜間と土日に需要過多となり、受け入れの限度を超えている。</p> <p>②スポーツに関心のない方の利用が少ない(利用頻度が少ない方の利用が少ない)</p> <p>③バリアフリーや安全な入館管理に対応する動線の検討が必要である</p> <p>④利用者や地域が交流する機能のあり方を検討する必要がある</p> <p>⑤区内に多く立地する民間スポーツ施設との役割分担</p>
--	---	--	--	--

(2) 課題の整理

<p>1) 施設に関すること A</p> <p>①施設全体の改善検討が必要：施設拡張</p> <p>②機能の環境改善検討が必要：面積拡張、有効活用、施設配置、設備更新等(スタジオ、ゴルフレンジ、ランニングコース、屋上空間、プール、エレベータ等)</p> <p>③多機能化等への対応検討が必要：使いやすさと多機能化との調整、地域交流のあり方検討、生涯学習利用との調整</p> <p>2) 利用に関すること B</p> <p>①利用過多・偏重となっている機能の改善検討が必要：週末・夜間利用拡大、面積拡張、プログラム見直し(主競技場・プール・卓球場・弓道場・剣道場・柔道場・トレーニングルーム等)</p> <p>②利用限定・頻度少となっている機能の改善検討が必要：多機能化、面積拡張、プログラム見直し(競技施設全般・相撲場等)</p> <p>③平日と夜間・週末(土日)の利用変化への対応が必要：多機能化、機能可変、プログラム見直し</p> <p>3) バリアフリーに関すること C</p> <p>①車いす利用者等が使いやすい施設の改善検討が必要：段差解消、幅員拡張、素材変更(廊下等動線、更衣室、トイレ、シャワー室、エレベータ、ドア、障がい者用競技スペース等)</p> <p>②外国人にわかりやすい施設の改善検討が必要：多言語対応等</p>	<p>4) 快適性に関すること D</p> <p>①設備の改善検討が必要：エレベータ拡張・増設、施設内空調改善、休憩施設の検討等</p> <p>②設備の導入検討が必要：授乳室、ジャグジー、飲食施設の導入等</p> <p>③利用円滑化に向けた検討が必要：内・外履きエリアのすみ分け、動線の滞留防止等</p> <p>④特異性のあるサービスの提供が必要：民間との役割分担、提供サービス検討等</p> <p>5) 安全に関すること E</p> <p>①防犯への対応が必要：管理強化・防犯機器導入等</p> <p>②無事故への対応が必要：医務室配置・AED配置・授乳室配置等</p> <p>③防災への対応が必要：避難場所の確保・備蓄防災倉庫</p> <p>6) その他 F</p> <p>①省エネルギー、環境負荷低減への配慮が必要</p> <p>②教育との連携が必要</p> <p>③スポーツ頻度が少ない・関心のない方も訪れやすい施設が必要</p>
---	--

III 基本的考え方

1. コンセプトと整備方針

(1) 関連資料における基本方針、関連計画からの位置づけ、社会動向等の整理

1) 新千代田区立スポーツセンター整備に関する提言（平成30年3月） ①誰もが利用しやすいスポーツセンター ②多様な役割を備えたスポーツセンター ③親しみがあるスポーツセンター ④地球環境に配慮したスポーツセンター ⑤災害時の避難所としての役割 ⑥官民協働による公益性と収益性	2) 区の関連計画 ①子どもから高齢者まで、すべての区民がスポーツに親しむ環境を整備する（改定千代田区スポーツ振興基本計画、平成25年6月） ②子どもから高齢者まで幅広い区民が気軽に親しめ、交流を図りながら一緒に運動やスポーツを楽しみ、生涯を通じた健康づくりに取り組める施設（新スポーツセンター整備について、平成27年3月30日） ③避難所として位置づけ（千代田区地域防災計画、平成29年7月6日修正） ④地域交流の場として位置づけ（千代田区公共施設等総合管理方針、平成29年3月策定）	3) 近年の社会動向等 ①スポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会の確保 ②高齢者の見守りなど、地域コミュニティの醸成・活性化 ③健康寿命の延伸、医療費の削減 ④地域のコミュニティの役割を担うスポーツクラブづくりの推進、地域活動団体の増加 ⑤災害時の避難場所としての施設活用
---	--	--

(2) コンセプト

新千代田区立スポーツセンター整備に関する提言（平成30年3月）

新千代田区立スポーツセンターは、「障害のあるなしに関わらず、子どもから高齢者まで幅広い区民が気軽に親しめ、交流を図りながら一緒に運動やスポーツを楽しみ、生涯を通じた健康づくりに取り組める施設」として整備する。

(3) 整備方針

新千代田区立スポーツセンター整備に関する提言（平成30年3月）

※「新スポーツセンターの位置づけ」より（④は「p. 4 課題の整理」を基に事務局追記）

- ①運動やスポーツの拠点施設（競技場所拡大に資するサブアリーナの整備、個人利用も視野に入れたジムやスタジオの機能、障害者スポーツの実施に対応した機能） ※課題の整理（p. 4）**A B**
- ②健康づくりに取り組むことができる施設（利用者層に応じた健康づくりに取り組むことができる機器等の整備、栄養・健康の情報・相談ブース） ※課題の整理（p. 4）**A B**
- ③気軽に立ち寄れる地域交流の場（オープンスペースを活用したスポーツサロン・カフェ、高齢者及び子育て世代のスポーツ・運動支援機能、スポーツ団体及びサークル活動の情報交換コーナー） ※課題の整理（p. 4）**A C F**
- ④快適で使いやすい施設（利便施設・設備などアメニティの向上） ※課題の整理（p. 4）**D**
- ⑤地域防災の拠点（地域の防災備蓄機能と避難所機能、災害発生時の情報の受発信機能） ※課題の整理（p. 4）**E**

2. 求められる機能

(1) 課題から求められる機能：p.4 (2) 課題の整理より

1) 施設の機能改善

- ①施設全体の改善検討が必要：施設拡張
- ②機能の環境改善検討が必要：面積拡張、有効活用、施設配置、設備更新等（スタジオ、ゴルフレンジ、ランニングコース、屋上空間、プール、エレベータ等）
- ③多機能化等への対応検討が必要：使いやすさと多機能化との調整、地域交流のあり方検討、生涯学習利用との調整

2) 需要への対応

- ①利用過多・偏重となっている機能の改善検討が必要：週末・夜間利用拡大、面積拡張、プログラム見直し（主競技場・プール・卓球場・弓道場・剣道場・柔道場・トレーニングルーム等）
- ②利用限定・頻度少となっている機能の改善検討が必要：多機能化、面積拡張、プログラム見直し（競技施設全般・相撲場等）
- ③平日と夜間・週末（土日）の利用変化への対応が必要：多機能化、機能可変、プログラム見直し

3) バリアフリー

- ①車いす利用者等が使いやすい施設の改善検討が必要：段差解消、幅員拡張、素材変更（廊下等動線、更衣室、トイレ、シャワー室、エレベータ、ドア、障がい者用競技スペース等）
- ②外国人にわかりやすい施設の改善検討が必要：多言語対応等

4) 快適性

- ①設備の改善検討が必要：エレベータ拡張・増設、施設内空調改善、休憩施設の検討等
- ②設備の導入検討が必要：授乳室、ジャグジー、飲食施設の導入等
- ③利用円滑化に向けた検討が必要：内・外履きエリアのすみ分け、動線の滞留防止等
- ④特異性のあるサービスの提供が必要：民間との役割分担、提供サービス検討等

5) 安心安全

- ①防犯への対応が必要：管理強化・防犯機器導入等
- ②無事故への対応が必要：医務室配置・AED配置・授乳室配置等
- ③防災への対応が必要：避難場所の確保・備蓄防災倉庫

6) その他

- ①省エネルギー、環境負荷低減への配慮が必要
- ②教育との連携が必要
- ③スポーツの頻度が少ない・関心のない方も訪れやすい施設が必要

(3) 求められる機能（案）※黄色網掛け部は新規導入

1) スポーツ

- ①利用改善：主競技場・プール・卓球場・弓道場・剣道場・柔道場・トレーニングルーム（利用過多）、競技施設・相撲場（利用限定・利用頻度少）
- ②環境改善：ゴルフレンジ利用環境改善、周回ランニングコース整備、スタジオ拡張、更衣室拡充
- ③機能追加：屋上スポーツ空間（屋上空間活用）、サブアリーナ、ウォーミングアップスペース

2) 健康づくり

- ①機能改善：健康づくり施設（トレーニングルーム）
- ②機能追加：健康づくり施設（ウォーミングアップスペース）、健康づくりプログラムの充実

3) 地域交流

- ①環境改善：会議室の多様・可変性
- ②機能追加：情報発信・情報交換コーナー、栄養・健康の情報・相談ブース、軽食・飲食スペース

4) 快適性・使いやすさの向上

- ①利用円滑化：廊下等動線、更衣室、トイレ、シャワー室・エレベータ、ドア、障がい者用競技スペース等
- ②多言語等対応：室名英語表記、ピクトサイン等
- ③設備改善：エレベータ台数・規模、施設内空調、休憩施設、放送設備、駐輪駐車設備
- ④設備導入：授乳室、ジャグジー、飲食施設、フリーWi-fi環境の整備
- ⑤管理強化：総合受付への動線一本化、ロッカールームの防犯対策
- ⑥事故対策：医務室配置、AED配置

5) まちづくりへの貢献

- ①省エネルギー、環境負荷低減に配慮した設備機器等の導入
- ②シンボル性のある施設のデザイン
- ③地域の防災備蓄機能と避難所機能

(2) 関連資料より：新スポーツセンターに求められる機能の整理（千代田区体育協会、平成29年7月27日）

1) 施設全般

- ①現スポーツセンターの建築延床面積以上の施設が必要
- ②主競技場は公式大会開催に足る機能及び施設が必要
- ③プールは短水路で公式大会開催に足る機能及び施設が必要

2) 競技場（各種施設）

- ①複合化する場合は現状各競技場の面積以上を確保することが望ましい

3) 放送設備

- ①主競技場にも全館（災害時等）、とくに諸室を選択して放送できる設備があることが望ましい

4) 更衣室

- ①競技フロアごとに更衣室を配置することが望ましい
- ②1つの更衣室で対応する場合は利便性に配慮した工夫が必要

5) 昇降施設

- ①エレベータは3機設置し、2機は稼働できる状態が望ましい
- ②1機を資機材運搬用としても使えるような工夫も必要

6) 会議室

- ①多機能化を図ることが望ましい（床は板張り、壁に鏡の配置）
- ②使用目的に応じて形状を変更できること（可動間仕切りの設置）

7) 駐車駐輪設備

- ①現在の台数以上が駐車できるスペースを確保するとともに、運搬車両が入ることを想定し、ある程度の高さを確保することが望ましい
- ②駐輪場を屋外に整備する場合は、屋根付きであることが望ましい

8) その他設備

- ①各種競技大会・講習会や活動団体の情報発信の拠点として情報コーナーを設置するなどの工夫が必要
- ②地域防災拠点の観点からも、フリーWi-fi環境の整備が必要
- ③バリアフリー、ユニバーサルデザインに根差した施設とする
- ④ランニングコースは周回コースでの確保ができない場合は必要性の可否について検討が必要
- ⑤ウォーミングアップスペースを確保することが望ましい
- ⑥共用部分にも採光により明るさを確保するとともに、空間の高さの確保や色彩の活用によって広さを感じる工夫が必要
- ⑦屋上はゴルフレンジや屋外でも可能な運動施設の整備など利活用が可能であることが望ましい